

オフショア開発環境

24時間体制の市況情報開発業界

課題

ある世界有数の投資機関は、市況情報アプリケーションや基盤の開発・QA（品質保証）業務を行うため、インドに開発センターを開設しました。新開発部の初仕事の一つはリアルタイム市況情報の入手でした。この投資機関は主に北米債券を売買していましたが、北米フィードを導入してもデータ配信はインドの業務時間内には行われません。システム構築には、インドの業務時間内に北米の市況情報を利用することが必要とされました。

選択

市況情報アプリケーションの開発・テストには、適切なデータが流れる市況情報配信基盤の入手が必要でした。しかし、そのような基盤や開発に必要なデータの導入は、予算的にも運営的にもかなりの負担でした。地理的に離れたオフショア開発拠点へのそのような投資は、24時間体制でサポートできるという利点を差し引いてもかなりの高額でした。この企業が直面していた課題は、開発に必要な基盤をいかに費用対効果の高い手法で構築するかということでした。

この投資機関は、オフショア開発拠点に高額のリアルタイムフィードを入れる代替案として、CodeStreet社のReplayService for TREP/RMDSを選択しました。

解決策

CodeStreet社のReplayServiceは、TREP/RMDS（トムソン・ロイターの市況情報システム）の高性能シミュレーターで、世界中の金融機関で開発やQAに利用されています。本製品は市況情報を任意の時間に配信できる、非常に費用対効果の高いソリューションです。同時に、アプリケーションや基盤の反復テストのためのテストケース設計という、重要な付加価値を提供します。

CodeStreet社は、北米市場取引時間内に市況情報を記録し、取引時間終了後にそのデータを再生することの出来るReplayServiceの導入を提案しました。ReplayServiceがRDFをシミュレーションすることにより、記録された市況情報をTREP/RMDS基盤内に送り込むことができます。これによってインドの開発部は北米開発環境にリモートログインし、同日記録された市況情報を使っての開発作業が可能になります。

導入

北米市場での取引活動を全て記録・再生できるよう、複数のReplayServiceインスタンスが導入されました。全工程が自動化されたので管理の手間が最小で済みます。オフショア開発部も同システムを利用し、デバッグ時に必要なリクエスト（データの停止・早送り・ステップスルーなど）を出すことができます。

効果

この投資機関は、ReplayServiceの導入によりリアルタイム市況情報基盤をインド支社に導入する必要がなくなり、大幅なコスト削減と短期間でROI（投資収益率）を実現しました。システムの導入はプロジェクト開始から30日以内という短期間で完了しました。

米国本社でもUAT（ユーザー受け入れテスト）やQA時に、本製品を使って市況情報アプリケーションの複雑な自動回帰テストを行うことができるようになったことが、恐らく最大の副次的効果でしょう。市況情報部でも本製品を使った市況情報配信基盤の監視や、キャパシティ問題やアプリケーション問題のテストができるようになりました。

お問い合わせ:

sales@codestreet.com
646-442-2800

またはトムソン・ロイターのお客様担当
営業にご連絡いただくか、トムソン・ロイターのカスタマーゾーンをご覧ください。



THOMSON REUTERS

codestreet 

CodeStreet, LLC
200 Park Avenue, 17th Floor
New York, NY 10166
Telephone 646 442 2800
www.codestreet.com